

住んで良かった加古川市へ

シリーズ
②

身近で役立つ立花俊治議員の4年間

平岡町になくってはならない議席



喜瀬川の崩れた土手を視察する立花市議員

市議会に送っていただいた4年、皆さんの声を議会に届け公約実現に全力で取り組んできました。

そして、住民から寄せられた要望に対し、現地を調査し、解決に努力してきました。

この間の主な要望は

- ① 高畑里道の補修
住民の皆さんと市に要望し実現。
- ② バイパス側道の道路の段差 国交省に申入れ実現
- ③ 源太池のゴミの収集
水利組合に申入れ清掃。

④ 街灯の設置 市が調査・実現。

⑤ 喜瀬川の崩れた土手修繕工事 現地調査後、担当者に対策を求め補正予算化され工事実施。

⑥ 地域猫対策
議会で取り上げ、不妊・去勢手術に補助金実現。

⑦ 工場の騒音 市に対策を求め。

市民の皆さんと力を合わせ「もっとみんなが住みよい加古川」をめざします。地域の声をお寄せください、ご支援よろしくお願います。

初質問
2018年
9月議会

公共交通の整備を求める

土山にミニかこバス運行始まる

市民の強い要望に応え、土山駅周辺の「かこバス」を早期に実現するよう求めました。

また、2021年6月議会では、高齢者にやさしい



マックスバリュ前に停車するミニかこバス

- ① 公設市場の廃止
- ② 温水プール、日岡市民プールの廃止

市民の声を無視した削減に反対

公共施設は市民の財産

市は、国の方針に従い公共施設の「統廃合・複合化及び長寿命化」等について具体的に検討し推進しています。

- ③ 加古川図書館の移転
 - ④ 公民館等利用料見直し
- 立花市議は、市民の声を無視した公共施設の削減・市民負担増に反対しました。



「ロシア軍はウクライナから撤退を・9条守ろう」
2022年3月19日

3・11反原発集会
2021年3月11日



「憲法9条をまもれ」写真上||毎月19日、「原発ノー」写真下||同11日)の集会は、加古川駅前地域の人たちと共同で開催。立花市議は、その先頭で頑張っています。

平和・いのち・くらしを大切に

市議会議員選挙候補者発表



橋本和彦 68歳

尼崎生まれ
13歳の時加古川市へ
大和田工業高校卒業
国鉄鷹取工場 就職
東播地区委員



立花俊治 73歳

大分県生まれ
宮崎大学卒業
兵庫県職員
加古川市議会議員一期
東播地区常任委員